

時短・業務改善 実際の導入事例

横浜市立市民病院様

のケース

臨床工学部
大谷 太一様

CASE STUDY

部署内での情報共有が効率化し、
進捗を瞬時に確認できるようになりました。

—— 自由度の高いグループメッセージによる進捗管理 ——

当院では約20人の臨床工学技士が日々多くの業者とやり取りをしているため、部署内での情報共有が極めて重要です。MONITAROでは案件ごとに関係する職員と企業担当者を自由に選択してグループを作成できるため、**メッセージを見るだけで各案件の進捗が瞬時に分かるようになりました。**

—— 企業担当者への連絡が画像添付で正確に ——

点検や修理の際には、**モニターに表示されているエラーメッセージや実際の破損箇所を画像添付して送信することで、企業担当者へ正確かつ迅速に連絡できるようになりました。**その他、見積もりや製品資料のやり取りにも使用していますが、多少容量が重くても問題なく送信できています。

—— アポイント管理と訪問管理の効率化 ——

業者からのアポイント依頼は、電話やメールの場合だと取次ぎや複数回のやり取りが発生しますが、**MONITAROでは候補日を選択するだけで済みます。**また、臨床工学部と手術室に訪問管理用のチェックインパネルを設置しており、**現在いる業者の確認や過去の記録保存にも役立っています。**